

経営比較分析表（令和2年度決算）

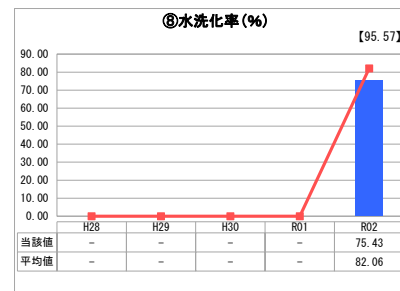
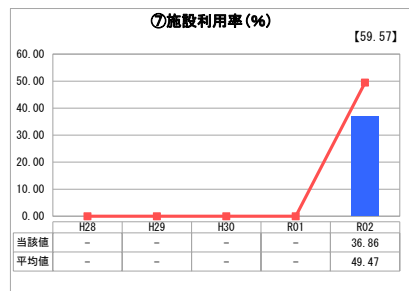
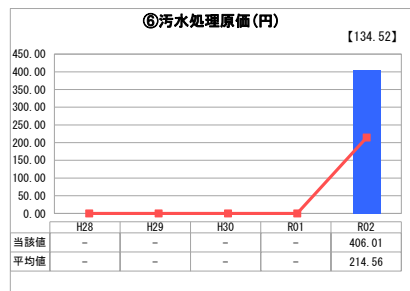
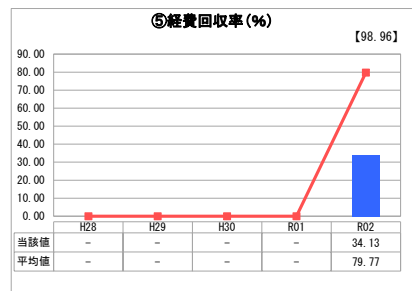
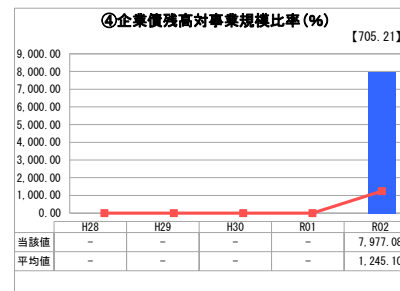
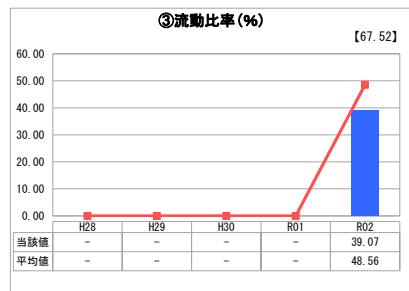
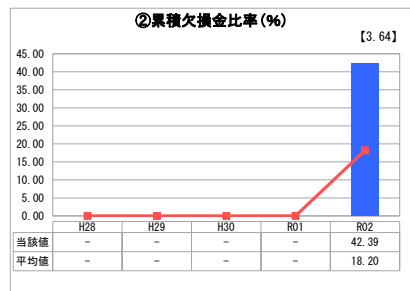
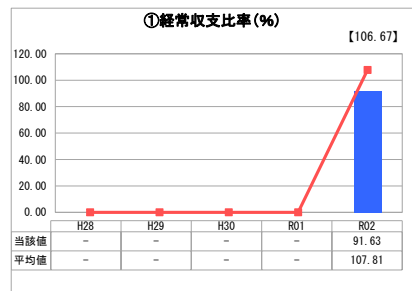
岩手県 大槌町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	75.07	50.53	82.09	2,640

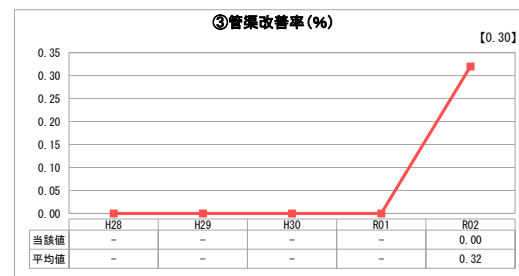
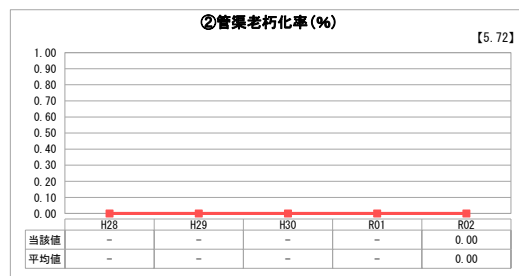
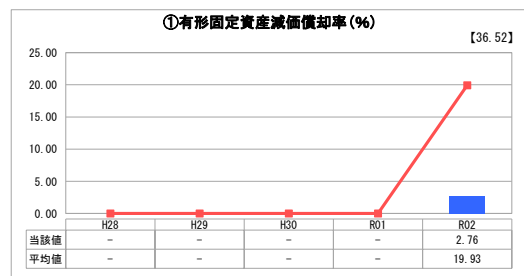
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,417	200.42	56.97
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,714	2.35	2,431.49

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は100%を割り込んでおり、今後、費用圧縮に取り組んでいく。
- ② 累積欠損金比率は平均値より高く、中長期的な経営改善をおこなう必要がある。
- ③ 流動比率は平均値より低く、安定した資金繰りをおこなうため、支払能力の向上が今後の課題である。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は平均値を大きく下回っている。要因は震災により被害を受けた施設の復旧等に伴う多額の起債借入である。
- ⑤ 経費回収率は低い水準であり、今後適正な使用料等の収入の確保及び、汚水処理費の削減が必要である。
- ⑥ 汚水処理原価は平均値より高く、有収水量の増加や汚水処理費の削減に取り組む。
- ⑦ 施設利用率は平均値より低いが、汚水管新設工事の進捗により今後改善する余地はある。
- ⑧ 水洗化率75%と低い水準にあるが、今後収入の増加を図るため改善に取り組む。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は低い水準であり、復興事業により新しい固定資産が多くあることを示している。
- ② 管渠老朽化率は0%で耐用年数を経過している施設がないことを示している。
- ③ 管渠改善率は0%で管渠の更新がないことを示している。

全体総括

公共下水道事業は汚水処理費の削減、水洗化率の向上、企業債残高の圧縮、使用料改定を含めた収入率の向上に今後も取り組み、適正な収支バランスを目指すものの、単年度で改善できるものばかりではないため、長期的な経営改善を目指すものである。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。